

## 編集後記

『スラヴ学論集』22号をお届けいたします。刊行が予定より遅れましたことを、会員の皆さま、そして、玉稿をお寄せいただいた執筆者の皆さまに、深くお詫び申し上げます。

本号には、講演をもとに加筆していただいた論文4本、2つのシンポジウムをもとにした報告文それぞれ3本（計6本）、投稿論文4本、書評2本、学会報告2本を掲載いたしました。海外の研究者からわが国の若手まで、幅広い層のスラヴィストに執筆者として参加していただくことができ、きわめて充実した内容となりましたことを、大変嬉しく思います。

刊行にあたり、前号よりもさらに多くの方々に査読者・校閲者としてご負担をおかけいたしました。査読者につきましては、匿名性を保つためにここにお名前を記載することは控えますが、編集委員長である私櫻井が委員会を代表し、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。また、委員ではないにもかかわらず、一連の講演の企画者である野町素己さん、ならびに、校閲担当として本号のみ編集に参加していただいた田中大さんと佐藤規祥さんには、一方ならぬご協力を賜りました。心よりお礼申し上げます。

本編集委員会は、2017年から現在のメンバーで始動し、私も初めて編集委員長として編集作業に携わりました。至らないところもあり多方面にご迷惑をおかけしましたが、今号も難航した編集作業を終え、無事に刊行することができました。阿部賢一企画編集委員長ならびに大平陽一前編集委員長、小椋彩副編集委員長ほか、多くの方々のご協力の賜物です。ありがとうございました。

櫻井映子（編集委員長）